

## 教育課題検討委員会 第11回 議事概要（公開用）

平成30年3月8日(火)19:00~20:00

町総合福祉センター3階講習室

出席者： 検討委員（2名欠席）、代理委員（1名出席）事務局

（課長補佐）

ただいまより、第11回教育課題検討委員会を開催したいと思います。本日、2名の委員が所用のため、欠席されております。代理として、1名の委員に出席していただいております。

（代理委員）

よろしく申し上げます。

（課長補佐）

それでははじめに、教育長よりご挨拶申し上げます。

（教育長）

こんばんは。いよいよ最後の第11回教育課題検討委員会を迎えました。思い起こせば、2ヶ月に1回という間隔で、最初のほうは、こうして集まることもなかなか大変だと感じつつ、悩みながら進めておったことを覚えています。それも、これで最後になるかと思うと、少し寂しい気持ちもするわけですが、本当に11回に及ぶ検討委員会で、ご意見いただいてきたことで、完成に至ることになります。今日で最後の会ですが、どうぞよろしく申し上げます。

（課長補佐）

それでは、会長に司会をお願いしたいと思います。

（会長）

はい。承知いたしました。先ほど、教育長もおっしゃっていたように、今回で最後になりました。私も、同じく寂しい気持ちがしております。

では、まず、いつものように先回、第10回の議事概要の要約を確認するところから始めさせていただきたいと思います。机上に配付させていただいておりますので、少しお時間を取りますので、お目通しいただいて、この議事概要は公表することを前提にしておりますので、それを踏まえて、お願いしたいと思います。

■ 委員より誤字の指摘があり、議事概要の修正を行った。

それでは、いつものように後ほどお気づきになった点がございましたら、事務局までご連絡をお願いできればと思います。

では、議題に移らせていただきます。ご案内にありますように、議題1 素案指摘箇所等の最終確認、議題2 答申、議題3 審議を終えての感想、議題4 講評、議題5 その他となっております。この順に進めさせていただきます。なお、事前にご案内がございましたけれども、本日は多度津町の広報誌並びにホームページに掲載を目的とした記録写真を撮影されるとのことですので、ご了解のほどお願いできればと思います。それでは、議題1 素案指摘箇所等の最終確認について、事務局よりご説明をいただければと思います。

## ■ 事務局説明

(会長)

ありがとうございます。ただいまご説明を受けましたけど、ご意見ご質問がありましたら、お願いいたします。

特には、よろしいでしょうか。では、ありがとうございます。それでは、この教育課題検討委員会報告書は、校了後に皆さまに完成版を送付するというところで、事務局から提案をされております。議題1は、ここまでとしたいと思います。

それでは、議題2 答申に移らせてもらいます。本日質疑がございましたので、このまま教育長に答申することにいたします。よろしいでしょうか。

## ■ 会長 答申文読み上げ

ありがとうございました。それでは、議題3 審議を終えての感想に移りたいと思います。昨年の8月から、およそ1年半以上にわたりまして、計11回の検討委員会を重ねてまいりましたが、皆さまには毎回真摯に議論をいただきましたことに、お礼申し上げます。最後になりますが、皆さまお一人お一人から、これまでの審議を終えてのご感想、これからの再編に向けてのご要望でも構いません。お話をいただけたらと思います。恐縮ですが、委員より時計回りにお願ひできますか。

(委員)

この答申で、幼稚園とか小学校の現状なり、再編の計画なり、適正配置が示されたわけですが、私の立場としては、答申をいただいた後、非常に、これからが大変であるなど思っています。皆さまの想いを受け取ったという風に受け止めています。多度津町の場合、今は、新庁舎とか駅周辺整備とか、また古民家を生かしたまち作りであるとか、色んな事業を並行してやっている中で、この幼稚園・小学校の問題も、

重要な課題ですし、それを答申という、想いとして受け取って、いかに実現をしていくのかということが、これからの課せられた大きな役割であるなと思っています。そういう意味で、身の引き締まる思いがしております。

(委員)

教育委員会とは管轄がちがう保育所ですが、この会にお呼びいただきありがとうございます。やはり、保育所としても、子どもたちを教育して学校に送り出すという立場ですから、このようなことを一緒に考えさせてもらう場があったということは、ありがたいと思います。なかなか、所管課がちがうと、見えない部分がいっぱいあるので、失礼なことも言ったのではないかと思ったりするのですが、やはり、子どもにとって、そういうことは関係がなくて、良い環境を作ってあげたいという想いで、私なりに考えたり、また、保育所長会でも、こういうことはどうかなということで、考えさせてもらえる機会をあたえていただいたことに、何より感謝しています。何年先になっても町に残る学校であってほしいし、そこに帰ってくる子どもたちを育てる保育機関でありたいなと思いです。

(代理委員)

今日は仕事で、丸亀の幼稚園に行っておったのですが、最近建った綺麗な園舎でして、教育委員会のほうでも多度津町として幼稚園の適正配置を話し合っているということを知っていましたので、近い将来、多度津町にもこのような幼稚園ができるのかなと思って見ていました。2校1園という再編の提言ですが、時代の流れであるなと思います。丸亀では、幼保が統合してこども園になるという時期で大変だという話も聞いているのですが、新しい建物ができ、そこへ園児が通い始めると、批判的な意見とかはなくなって、自然と落ち着いてくるそうです。今日、私もその幼稚園を見ていて思ったのですが、本当に多度津町にも立派な幼稚園が建てば「あそこに通わせたいな」という方も結構おられるのではないのでしょうか。町で1園にするということで、一方の意見があれば、また一方の別の意見の方もおられると思いますが、せっかく大きなお金をかけて建てられるので、建物自体が時代のニーズにあった設備や形で、将来を見越して、これからしっかりと作っていただければと思っています。本当に、11回お疲れ様でした。

(委員)

思えば、長かったような早かったような委員会だったと思っています。私は、こういう会に出るのが初めてで、PTA代表とはなっていますが、どう発言すればとか、教育のこととかはほとんど考えたこともなく、仕事は医療系ですので、ほど遠い感じでした、「何を言おうかな」と、すごく悩んでしまったのですが、保護者の代表ということで、幼稚園で困っている保護者の声から、ここで少し意見を言わせていただい

たり、幼稚園は本当に子どもが少なく、保護者も少なくなっているのに、行事もぎりぎりで行っている、そういう保護者の想いとか、子どもたちの声を届けるのが、私の仕事かなと思って、色んなことを言わせていただいたのですが、多度津町のこれからが良くなるように、この会が有意義なものであればいいなと思っています。ありがとうございました。

(委員)

小学校の代表ということで、多くの保護者が現状維持を希望される中で、意見を言うのは難しいなと思いました。検討内容の報告書は、町民に、良い形で知らせていただきたいなと思います。今後の再編の話とかも、知らせてほしいなと思います。友達や他の保護者は、「子どものためではなくて、町の財政のための統廃合や」という厳しい意見もあるので、そういう意見を言われないように、みんなが納得するような強い理由を全面に、教育の充実とか、そういうこと打ち出して再編を進めてほしいなと思います。

(委員)

このような委員会が始まったこと自体が、幼稚園の代表としてありがたいなと思っています。このことは、前々から、心配しておったのですが、まず一歩動き始めたことがありがたいです。当事者として、しっかりとした意見が言えなかったことが申し訳なく思っておりますが、事務局の方でたくさんの資料とか、こういう会の準備をされて大変だったと思うのですが、前へ動き出したということが、本当にうれしいです。どんな形でも、幼稚園を残したいという気持ちはすごく持っています。保育所には保育所さんの役割があります、幼稚園の役割っていうのもあると思っているので、これから先、子どもたちはどんどん減っていくのですが、幼稚園は残していただいで、多度津の子どもたちを、保育所さんと力を合わせて成長させていければいいなと思っています。ですので、こういう会をしていただいで、この方向に向かっていくということは、本当にありがたいです。最後になりますが、なかなか大変な状況ということもわかっていますが、一日でも早く実現していただけるようお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

(委員)

私は、今年度から参加させていただきまして、皆さんの半分の期間で、あまり力になれなくて申し訳なかったと思っていますが、その前に、昨年2月頃に意見聴取として、委員会に招かれたときに、最初は「小学校はこのまま4つで良い」と考えたこともあったのですが、色々皆さんのお話も聞かせていただいで、今回の答申は、一人の町民としても適切だなと思っています。事務局から示されるデータも、議論すべきところに合致したものであったし、読み取り方も拙速に結論付けたり、誘導することな

く、緩やかな文面で我々に示してくれたので、良い検討ができたということで感謝しています。今後のことですが、委員もおっしゃったように、現実問題、この委員会が始まったのは、子どもの数が減少しているという推計がしっかりとあるということと、その中で4校4園を建て直さなければならないということで、財政的な問題があったことも確かですが、子どもにとってこうすることが非常にプラスであるんだということを、やはり皆さんにある程度しっかり示していくことが大事なのだらうと思います。自分たちの町の学校が、誇れるものであるように、そういう気持ちを持っていただくことが大事であると感じています。もうひとつは、推計を見て、本当に子どもの数が少なくなっているのだなということを思ったときにですね、本当にそうなのか、できたらそうならないほうが良いのにといい気持ちもありまして、白方地区がどんどん減少しているということでしたが、今年、1年生の社会科の発表があって、その題材が白方牡蠣のことだったのです。結論として、白方の牡蠣が美味しいのは自然がいいからであるということだったのですが、それを聞いていて、そうだよな、確かに多度津には良いものがあるよなということを感じました。その子達にも、この話をしたのですが、昨年5月に東京に行きまして、牡蠣バーで牡蠣を食べました。そこでは、広島のお牡蠣より、白方の牡蠣の方が、値段が高かったのですよ。本当に、多度津には素晴らしいものがあるよ、ということを行いました。その他にも、多度津町は今、色んな動きがありますので、これから先、期待ができることもあるのかなと思っています。だから、推計のとおり減少していくのではなくて、もっともっとちがう展開になってくれたらいいなと思っています。ありがとうございました。

(会長)

最後になりましたが、本当に1年半ありがとうございました。学識経験者という立場で、会長の委嘱を受けておりましたが、一番最初に申し上げましたとおり、この分野は専門外の者でございます。むしろ、3人の子どもを、この町で育てさせていただいた、その感謝の意味で、ここに加わらせていただいたということでございました。本当に一緒になって考えさせていただくことで、皆さんに支えていただきました。色々、教えていただきました。そうした中で、今日、答申書を提出することができ、安心しているところであります。たくさんの課題が、まだ残っていますが、PTA役員委員の皆さんは、本当にPTAを代表して、保護者との間に入ってと言いますか、苦しい中で進めていただいたと思っています。それから、現実的には、なお反対の意見も多いでしょうが、私たちが検討してきたこと、今後の子どもたちのよりよい環境、ベストな教育環境のためにということで、話し合ってきた結果が今回の答申であると思います。そうしたことを町民の方に伝えて、そして、委員もおっしゃいましたが、これからが本当に大変だということで、私たちは、これで一旦、役割は終わりますけれど、本当の始まりはこれからですし、私たちも見守っていくという立場でいたいと思っています。「たどつっ子」という言い方をするというのも、この場で初めて聞き

ました。良い言葉ですね。たどつっ子が、良い環境の中で育っていくという今後を楽しみに見ていきたいなと思っております。事務局は、これから本当にご苦労だと思いますが、よろしくお願ひしたいと思っております。

それでは、議題4でございます。教育長より、講評をいただきたいと思ひます。

(教育長)

まずは、感謝申し上げないといけないと思ひています。11回にわたり、検討委員会を開催したところ、本当に闊達な論議をしていただき、またPTAの代表の御二人には、保護者の方に自主的にアンケートもしていただくなど、それらも含めて、皆さまの方からも情報提供いただき、こちらからの情報も含めて、情報共有をしながら検討したこと、ありがたく思ひています。

この答申を真摯に受け止めて、教育委員会は、適正規模・配置の基本方針案をたてることとなります。その後、実施に向けての計画を立てていきます。

私の感想を述べさせていただきますと、私自身、幼稚園とか小学校を見せていただく中で、様々な課題もあるのですが、それぞれ歴史や伝統があつて、人数が少ないところと多いところがあつて、それぞれが少ないながらも頑張つていたりとか、多いところもさらに活性化していこうとされていり、本当に一生懸命頑張つておられる、それぞれの地域にとって大切な小学校、幼稚園だから、それを動かすことは、正直言つて抵抗感もあるだろうし、地域の皆さまや子どもたちに不安も与えるのではないかという思ひもあります。

しかし、幼稚園だと3歳から5歳の3年間、小学校だと1年生から6年生の期間、それらが子どもたちの発達にとってどんな時期であるかということをお考えたときに、このままの状況が続くのではだめで、教師のかかわりはもちろんですが、子どもたち同士のかかわりについてもっと検討しなければならず、子どもの集団が一定規模確保されなければならないのではと考へていったわけではす。

この時期だからこそ、他者から学ぶ、子ども同士が一緒に活動できると適正な教育環境はどうあるべきか、園児・児童の数を変数として考へると環境がどのように変わるのかと考へることが大切で、「今」適正規模・適正配置について検討することは本町にとって本当に意義あることだったのでないかと思ひます。

いただいた意見を大切に、子ども同士が良い関係が生まれるような、幼稚園・小学校にしていきたいなと思ひています。

本当に長い間、ご議論いただきありがとうござひます。今後、皆さんが言われたように町民の方々にしっかりと理解を求めながら、実施に向けて頑張つていきたいなと思ひています。今後とも、支援をお願ひできればと思ひます。

(会長)

ありがとうござひました。それでは、議題5 その他であります、事務局より何

かございますか。

(主任主事)

失礼します。報告書の基本的な内容については、ご承認いただきまして、段落を下げる等の字句修正があった場合は、事務局の方で加えさせていただくということで構いませんか。

(会長)

はい。では、いかがでしょうか。そのようにしていただければと思います。

それでは、用意された議題はすべて終了いたしました。皆さま、本当に1年半ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

(課長補佐)

本日は、おいそがしい中お集まりいただきありがとうございました。これにて、多度津町教育課題検討委員会を閉会します。

以上、散会